

2015年12月期 決算説明会



2016年2月26日

<http://ideacon.jp/>

本資料は、当社の評価を行うための参考となる情報提供のみを目的としたものです。投資等の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願い致します。投資の結果等に対する責任は負いかねますのでご了承ください。

当資料に掲載されている予想数値あるいは将来に関する記述の部分は、資料作成時の判断ですが、その内容の完全性・正確性を会社として保証するものではありません。予想数値等は、今後の経済情勢等により、修正を行うことがあります。


<目次>

- 1. 当社グループの紹介**
- 2. 2015年12月期決算のポイント**
- 3. 受注確保への取り組み**
- 4. 2016年12月期の計画**

< 1. 当社グループの紹介 >

1-1. 当社の概要

1-2. 当社グループの概要

1-3. 業務概要の紹介(ビデオにて紹介) 

1-4. 当社のポジショニング

1-5. 主要顧客の概要

1-1. 当社の概要

- ◆ 名 称 いであ株式会社 (IDEA Consultants, Inc.)
- ◆ 本社所在地 東京都世田谷区駒沢
- ◆ 創業年月 1953年(昭和28年)5月
- ◆ 設立年月 1968年(昭和43年)9月
- ◆ 資 本 金 31億7,323万円
- ◆ 従業員数 874名(連結、2015年12月現在)
- ◆ 連結子会社 新日本環境調査(株)、沖縄環境調査(株)、東和環境科学(株)、以天安(北京)科技有限公司
- ◆ 事業概要 社会基盤の形成と環境保全の総合コンサルタント

1-2. 当社グループの概要

いであグループ いであ+連結4社 874名

<連結子会社:4社>

<非連結子会社:3社>

新日本環境調査(株)

- ・水域、陸域環境調査
- ・環境アセスメントに係る
コンサルタント業務
- ・分析業務

沖縄環境調査(株)

東和環境科学(株)

- ・環境コンサルティング
- ・廃棄物対策
- ・土壌汚染対策

以天安(北京)科技有限公司

- ・中国における窓口業務

寧波国科監測技術有限公司

イーアイエス・ジャパン(株)

- ・環境計測機器の製造・販売・保守

日本設計サービス(株)

- ・成果品の製本印刷
- ・CAD図面の作成

(株)Ides 海外ODA事業

ジーフォーム(株)

- ・土壌浄化装置等の開発・製造

UAE-IDEA Advance Analytical Company Limited (UIA)

- ・タイでの環境分析業務

中持依迪亜(北京)環境検測分析株式会社 (持分法適用)

- ・中国での環境分析業務

いであ(株)

776名
平均年齢 44.3歳

2015年12月現在

<関連会社:4社>

1-3. 業務概要の紹介

◆ビデオにてご紹介いたします 

1-4. 当社のポジショニング

- ◆ 建設コンサルタント会社中の売上高順位は9位
- ◆ 「建設環境分野」の売上高順位は **1位をキープ**

カッコ内売上高：億円

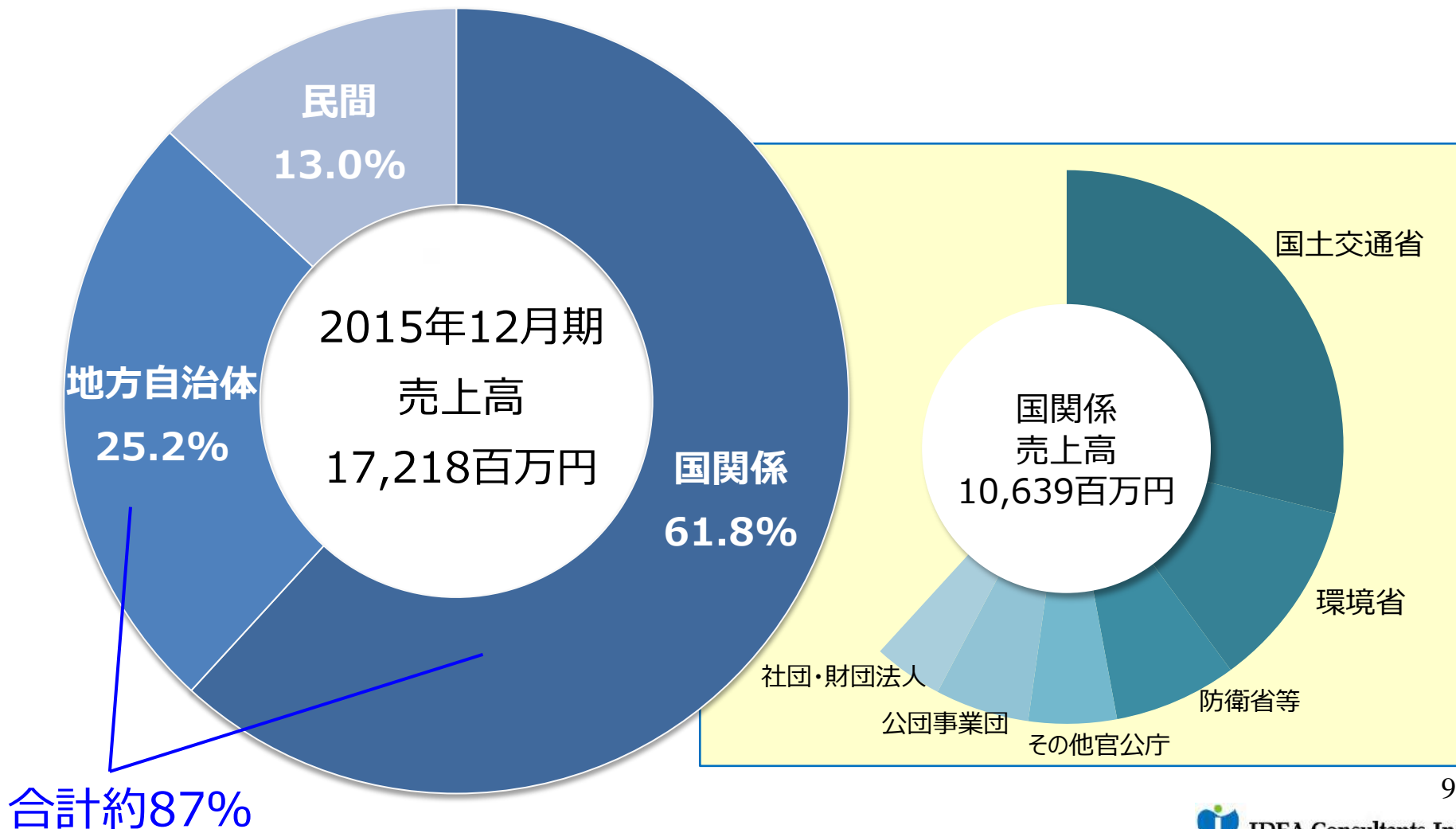
順位	建設コンサルタント部門全体	建設環境分野	河川、砂防および海岸・海洋分野	港湾および空港分野
1	日本工営 (454)	いであ (75)	建設技術研究所 (132)	パシフィックコンサルタンツ (33)
2	パシフィックコンサルタンツ (401)	建設環境研究所 (45)	日本工営 (87)	日本工営 (26)
3	建設技術研究所 (313)	パシフィックコンサルタンツ (36)	パシフィックコンサルタンツ (69)	エコー (17)
4	オリエンタルコンサルタンツ (239)	環境総合テクノス (34)	東京建設コンサルタント (46)	日本港湾コンサルタント (14)
5	八千代エンジニアリング (183)	日本工営 (28)	八千代エンジニアリング (42)	ニュージェック (14)
6	ジェイアール東日本 コンサルタンツ (168)	建設技術研究所 (22)	いであ (36)	いであ (11)
7	エイト日本技術開発 (155)	アジア航測 (21)	ニュージェック (34)	日本海洋コンサルタント (10)
8	国際航業 (154)	エヌエス環境 (21)	国際航業 (33)	エイト日本技術開発 (10)
9	いであ (150)	応用地質 (20)	日本振興 (29)	オリエンタルコンサルタンツ (10)
10	ニュージェック (144)	国際航業 (14)	ドーコン (29)	三井共同建設コンサルタント (10)

出典) 「日経コンストラクション」(2015年5月11日号)「建設コンサルタント決算ランキング2015」より日経BP社の許可を得て引用。無断転載・複製を禁じます。

注) いであ(株)単体のデータを提供。データは2014年12月期。建設コンサルタント部門売上高15,072百万円、全体売上高15,873百万円

1-5. 主要顧客の概要

- ◆ 「国関係」は約62%、「地方自治体」が約25%
- ◆ 「国・地方自治体」で約87%、残り13%が「民間」



< 2. 2015年12月期 決算のポイント >

2-1. 連結決算概要

2-2. 部門別売上高の構成

2-3. 販売費及び一般管理費の推移

2-4. 連結貸借対照表

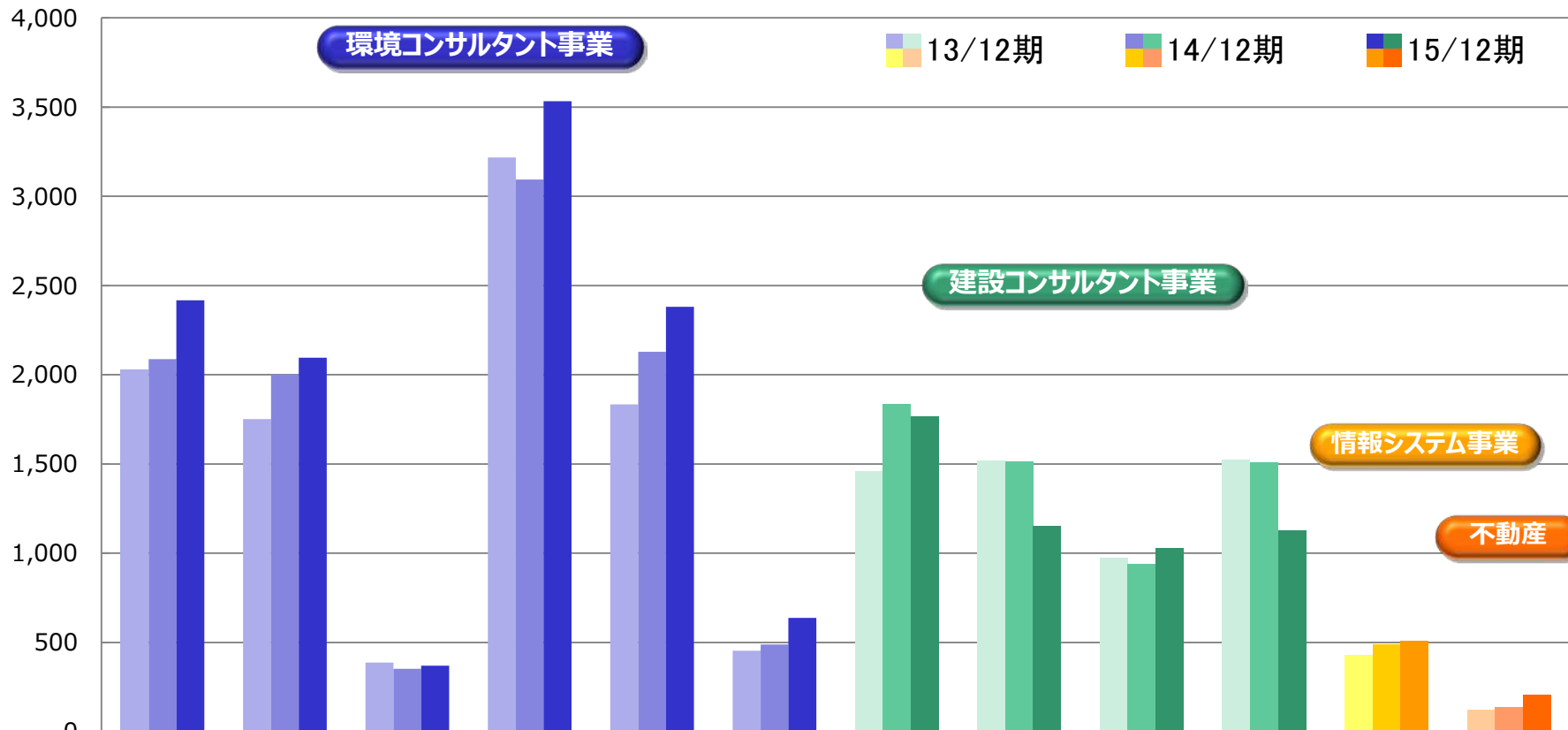
2-1. 連結決算概要

- ◆ 売上高は環境コンサルタント事業の増加により前期比3.9%増
 - ◆ 原価率の高い大型業務の増加 および 原価率の低い建設コンサルタント事業の売上比の低下により全体の原価率が上昇した結果、営業利益は前期比7.3%減
 - ◆ 前期は固定資産売却益を特別利益として計上したことから、当期純利益は前期比30.9%減
 - ◆ 当期純利益率は6.4%と目標を達成
- (単位：百万円)

	13/12期	14/12期	15/12期	増減
売上高	15,703	16,571	17,218	647 (3.9%)
営業利益	1,396	1,825	1,692	△132 (△7.3%)
経常利益	1,316	1,850	1,746	△103 (△5.6%)
当期純利益	964	1,588	1,097	△490 (△30.9%)

2-2. 部門別売上高の構成

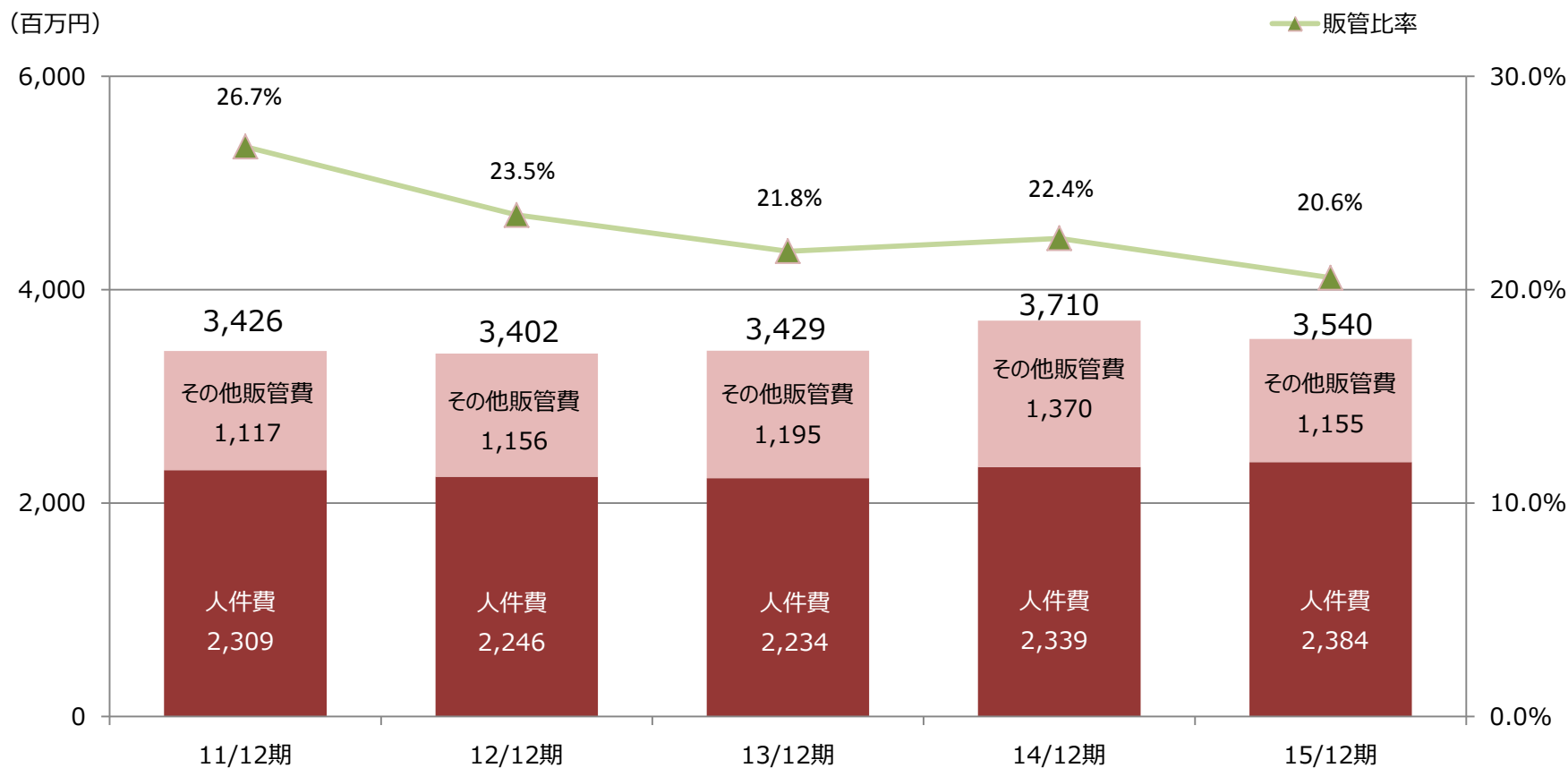
(百万円)



	環境アセスメント及び環境計画	環境生物	数値解析	調査	環境化学	気象・沿岸	河川	水工	道路	橋梁	情報システム	不動産
13/12期	2,031	1,751	387	3,218	1,833	454	1,460	1,519	974	1,525	426	120
14/12期	2,088	2,001	352	3,093	2,129	488	1,835	1,514	936	1,505	487	137
15/12期	2,417	2,096	369	3,533	2,381	637	1,764	1,150	1,027	1,126	505	207

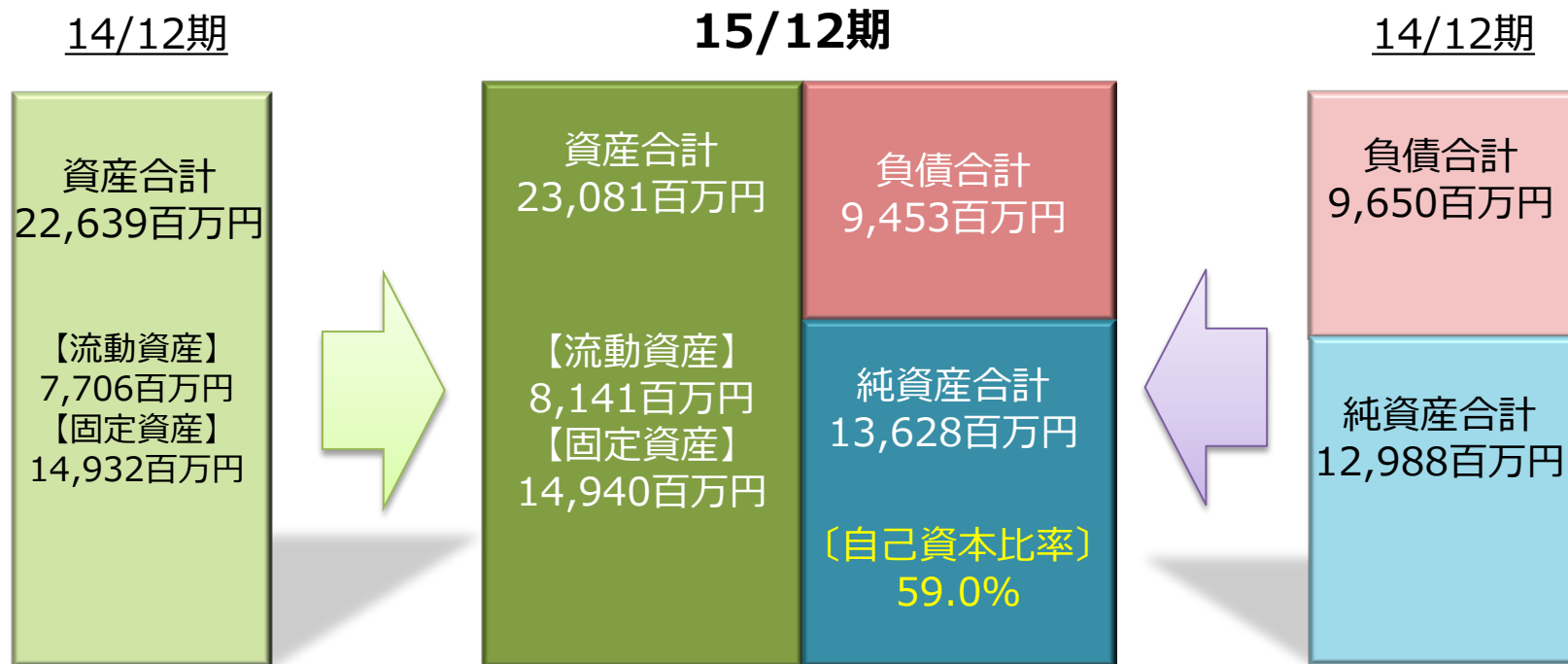
2-3. 販売費及び一般管理費の推移

- ◆ 販管費及び一般管理費は、前期に比べ1億6千9百万円減少
- ◆ 人件費は4千5百万円の増加、その他販管費では2億1千5百万円の減少
- ◆ 販管費率は過去5年間の推移をみると減少傾向



2-4. 連結貸借対照表

- ◆ 資産合計は23,081百万円に増加
- ◆ 自己資本比率は59.0%と1.6ポイント上昇



< 3. 受注確保への取り組み >

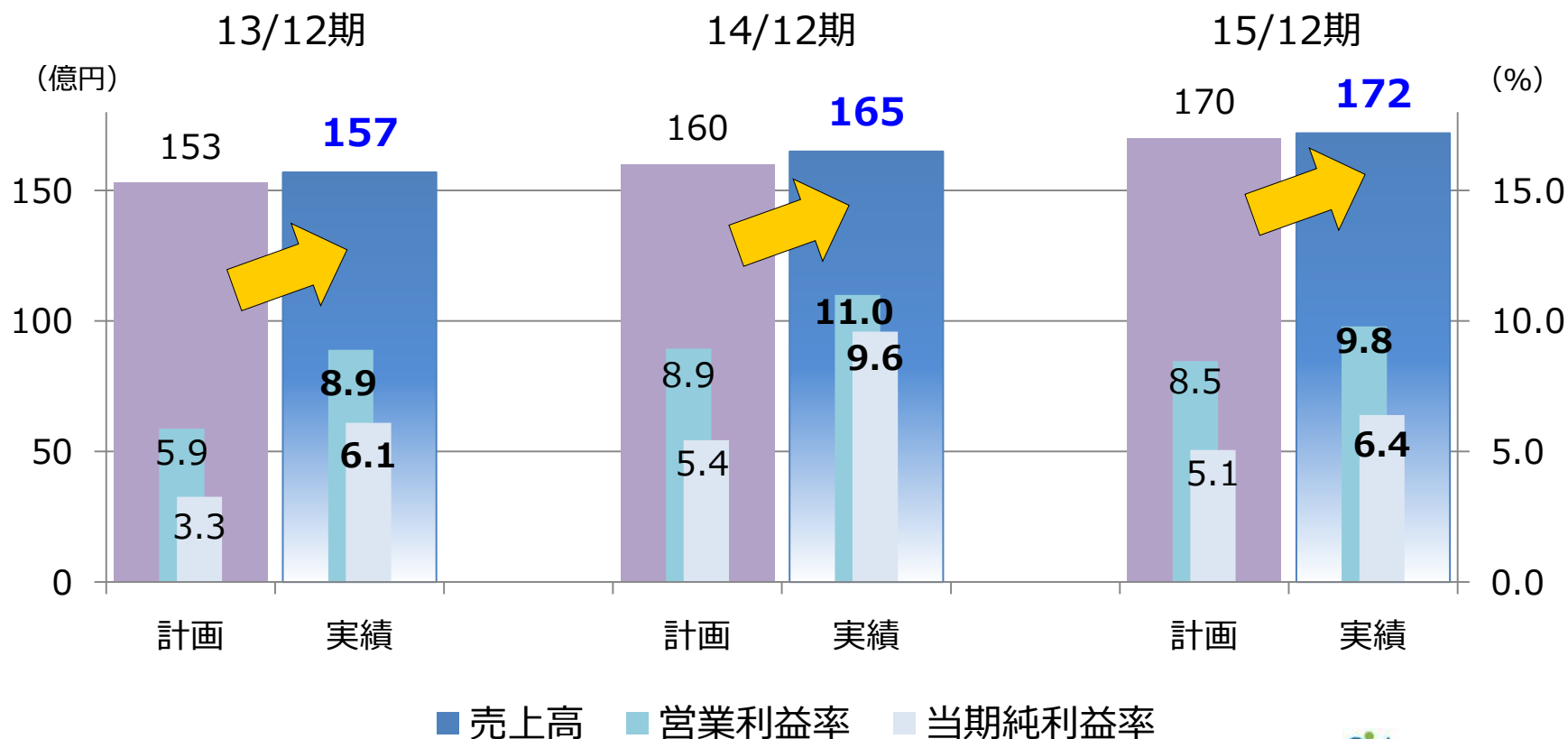
- 3-1. 前中期経営ビジョン(2013～2015)の成果
- 3-2. 新中期経営ビジョン(2016～2018)の概要
- 3-3. イノベーションを担える人材づくり
- 3-4. 受注形態別受注高(単体)の推移
- 3-5. 重点事業分野に関する取り組み事例

3-1.前中期経営ビジョン(2013~2015)の成果

「イノベーションによる技術革新・市場創生と経営の効率化」をスローガンに、

- ①これまでの技術開発の成果をもとにした市場創生・新規事業の展開、
- ②グローバル人材の育成、③コーポレートガバナンスの強化 の3つを柱として具体的な施策に取り組み、

各期とも当初計画を達成



3-2.新中期経営ビジョン(2016～2018)の概要

イノベーションとマーケティングによる 市場創生・新規事業の展開と海外事業の拡大

～新中期経営ビジョンの位置付け～

2023年（創立70周年）に連結売上高200億円、営業利益率10%を
安定的に維持するための基盤を強化する期間

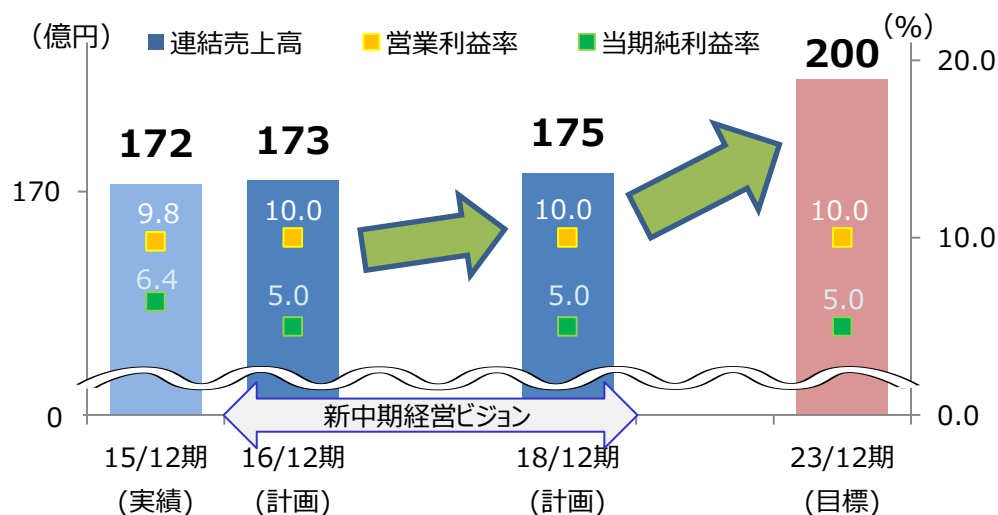
3つの柱

1. イノベーションとマーケティングによる市場創生・新規事業の展開と
新しい視点による技術開発の推進
2. グローバル人材の育成・確保と海外事業の拡大
3. コーポレートガバナンスの更なる強化

3-2.新中期経営ビジョン(2016~2018)の概要

数値目標

1. 連結売上高 **175億円**
2. 営業利益率 **10%**、
当期純利益率 **5%**



重点事業分野

- 災害リスクに対する防災・減災対策
- 土壌汚染・廃棄物対策
- 外洋や遠隔離島の環境調査および海洋資源探査に伴う環境・生態系調査
- 生物多様性の確保対策や自然再生
- 生命科学関連事業
- 微量化学物質の分析やリスク評価・管理
- 流域における水循環の総合的かつ一体的な管理の支援
- 海外事業展開 (新拠点設置・領域拡大)
- インフラマネジメント
- 再生可能エネルギーの活用検討

3-3. イノベーションを担える人材づくり

富士研修所（山梨県）や現地で研修を実施

⇒ 階層別研修、専門技術研修、技術士取得者研修など



講師・受講者を合わせ、毎年のべ500名以上参加

3-3. イノベーションを担える人材づくり

業務評定点の実績 (国土交通省・内閣府発注業務)

区分	2012業務	2013業務	2014業務
全平均	76.4	77.0	77.3

表彰獲得業務数の実績

区分	2012業務	2013業務	2014業務
局長表彰	9	10	15
事務所長表彰	23	28	29
合計※	29	36	43

※ 局長表彰・事務所長表彰の重複を除く

技術士総数

区分	2013	2014	2015
総数	426	434	442

専門技術研修・資格取得研修等の成果

【特定率の向上】

プロポーザル
27.8%(2012)
⇒**31.8%(2015)**

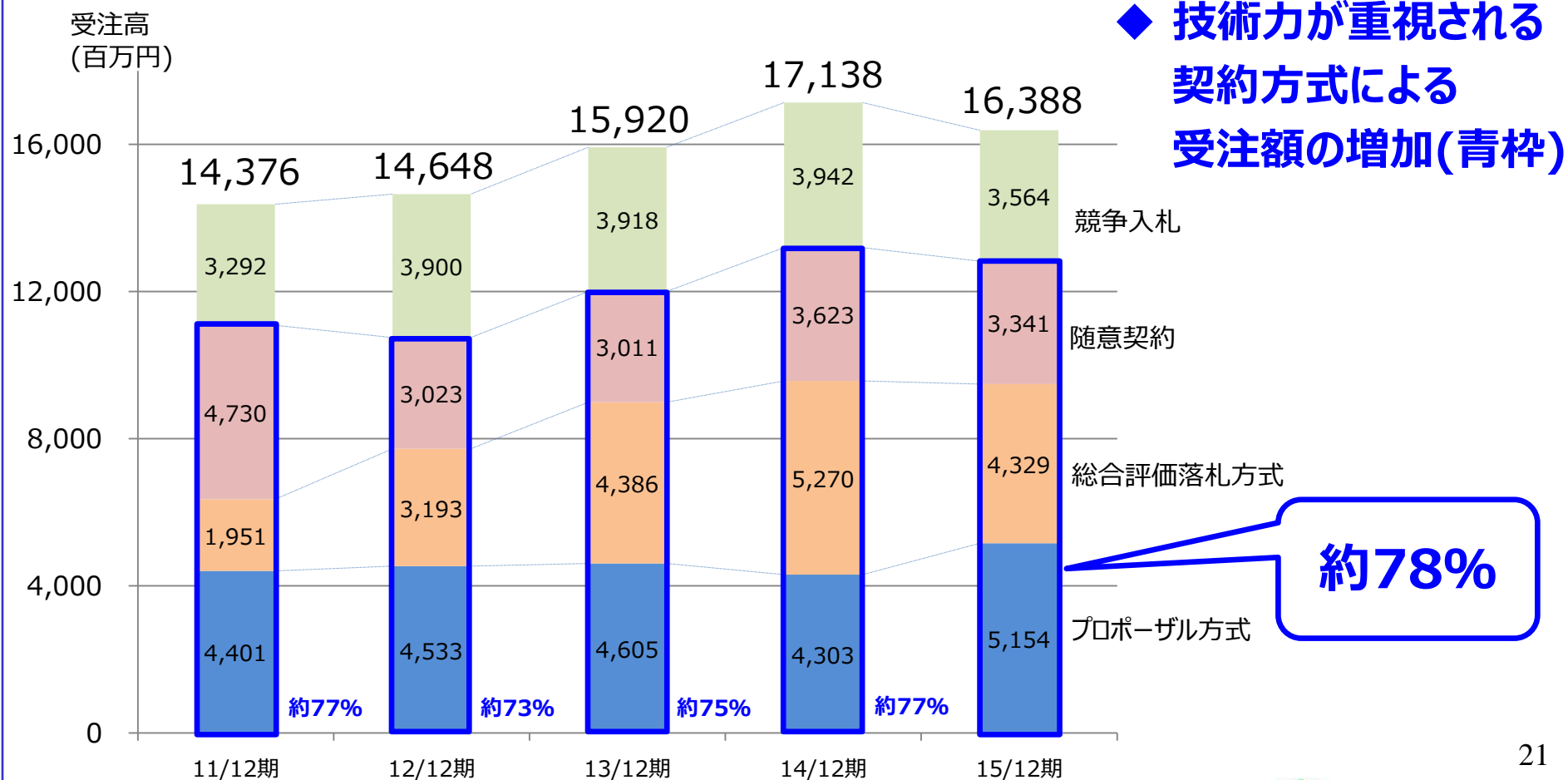
総合評価落札方式
17.2%(2012)
⇒**22.3%(2015)**

- ◆ 高付加価値業務獲得
- ◆ 利益率の向上

3-4. 受注形態別受注高(単体)の推移

技術力及び提案力向上・技術開発による高付加価値化・選択と集中

▶ プロポーザル・総合評価落札方式での受注を重視



約78%

3-5. 重点事業分野に関する取り組み事例

3-5-1. 防災・減災

3-5-2. 再生可能エネルギー

3-5-3. 海洋調査・海洋資源開発

3-5-4. 食品・生命科学

3-5-5. 海外事業展開

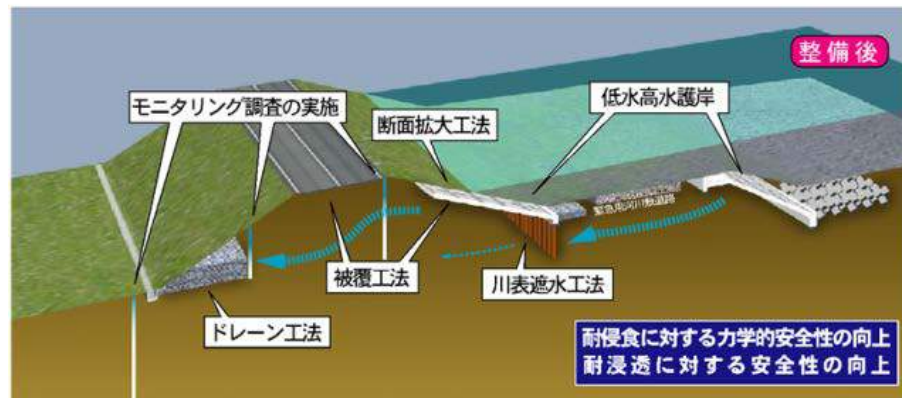
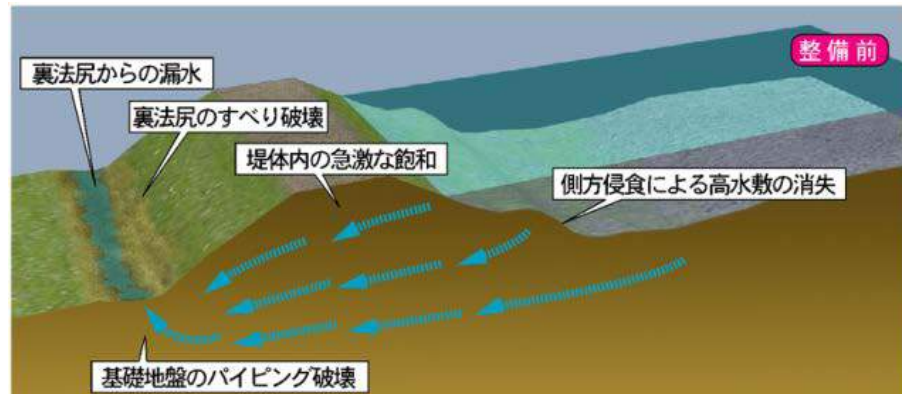
3-5-1. 防災・減災 – 河川堤防強化

「災害に強い国土づくり」のための堤防強化の検討・設計

- ◆ 2015年の鬼怒川の破堤による大規模な浸水被害を受け、国土交通省が新ビジョンを策定
⇒ 今後5年間で約8,000億円をかけ、国が管理する河川堤防を強化
- ◆ 当社の河川堤防強化の業務実績をもとに、鬼怒川においては破堤箇所への応急復旧の設計、堤防被災箇所への強化方法の検討を実施



【鬼怒川の洪水はん濫状況】



【河川堤防の一般的な強化対策の例】

3-5-2. 再生可能エネルギー

再生可能エネルギー導入推進への対応

風力発電等の円滑な導入のため、適切な環境調査・アセスメントが必要となります。
また、バイオマスなどの地域分散型エネルギー活用、海洋エネルギーや水素利用等の研究開発や実証試験等の業務が拡大されます。

海洋エネルギー導入のための
流況調査(潮流エネルギー調査)



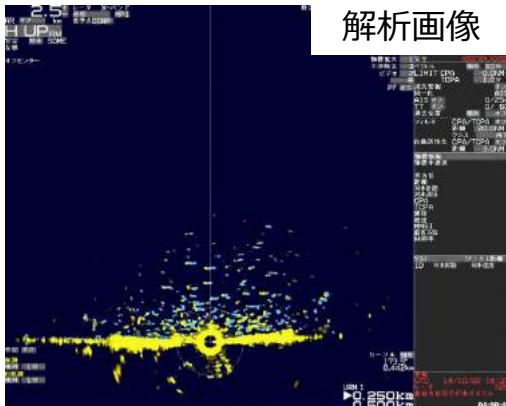
当社研究所に両面受光型
太陽電池パネルを設置



レーダー装置

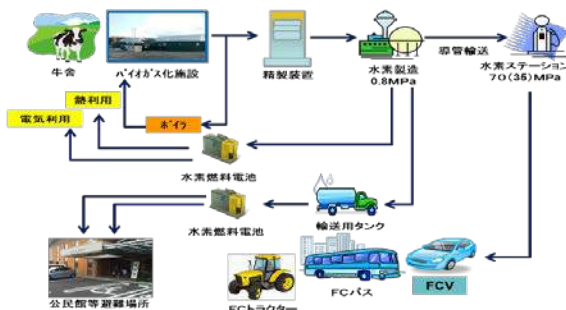


解析画像



風力発電事業における環境影響評価調査
(鳥類レーダー調査)

STEP1: [地産地消型 メタン発酵施設一体型水素供給システム]



地産地消型水素供給システム

3-5-3. 海洋調査・海洋資源開発

海洋生態系の把握 ～生息環境の3次元マッピング～



多機能型的水中ロボット

左：サツマハオリムシ群集（化学合成生態系）と3次元マッピング成果：右図

海域環境の把握 ～特殊な海底環境の調査技術～



西ノ島

水中ロボットによる海底撮影

水中3Dスキャナーによる音響計測

3-5-4. 食品・生命科学

健康な暮らしを支える医療・食品・生活環境の分析

(食品・生命科学研究所)

B to B
<Business>

迅速・安価・信用・信頼

食品

食品成分、農薬、微生物、
アレルギー、
酵素、機能性食品、
食品原料、混入異物、
病原性微生物、
トランス脂肪酸、アミノ酸

コア技術

タンパク質分析

個々の生物が持つすべての
タンパク質の集合

DNA分析

RNA分析

有機分析(LC, GC)

無機分析(ICP-MS, EDX)

B to A
<Academic>

先端・専門・正確・少量

生命

医薬品原料、薬物動態分析
タンパク質解析、
マルチオーム
(ゲノム+タンパク質)
細胞・動物組織・臨床組織、
ガン細胞、iPS細胞

お部屋の健康診断、ダニ、ホコリ
毛髪診断、腸内フローラ診断

ライフケア



B to C
<Consumer>

安価・安心・平易・多量

3-5-5. 海外事業展開 – 海外拠点の設置と市場拡大

主にアジア地域への環境ビジネスの展開 ~中進国・途上国への拠点設置、市場の開拓~

中華人民共和国 (北京・寧波)

- 以天安(北京)科技有限公司
- 中持依迪亞(北京)環境検測分析株式会社 
- 寧波国科監測技術有限公司 



タイ王国 (バンコク)

- UAE-IDEA Advance Analytical Co., Ltd. 



その他 (計画・検討中)

- 主にアジアを中心とした中進国および途上国

現地事務所

- インドネシア(ジャカルタ) フィリピン(マニラ)

子会社

- (株)Ides (2015年末、子会社化)

環境の主流化による市場ニーズの拡大 ~既存モデルの応用・複合化~

国際動向

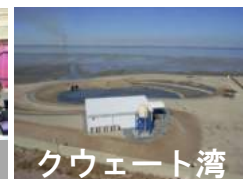
- 持続可能な開発のための2030アジェンダ
– 持続可能な開発目標(SDGs) –
- 気候変動問題: COP21(パリ協定)

国内動向

- 特定分野における二国間協力
- JCM事業 ・ JICAコストシェア技術協力

事業領域拡大のリソース

- サンゴ礁の保全・再生 ・ 洪水警報システム
- 干潟による水質浄化の実証



< 4. 2016年12月期の計画 >

4-1. 連結決算予想

4-2. 期首繰越受注残高の推移

4-1. 連結決算予想

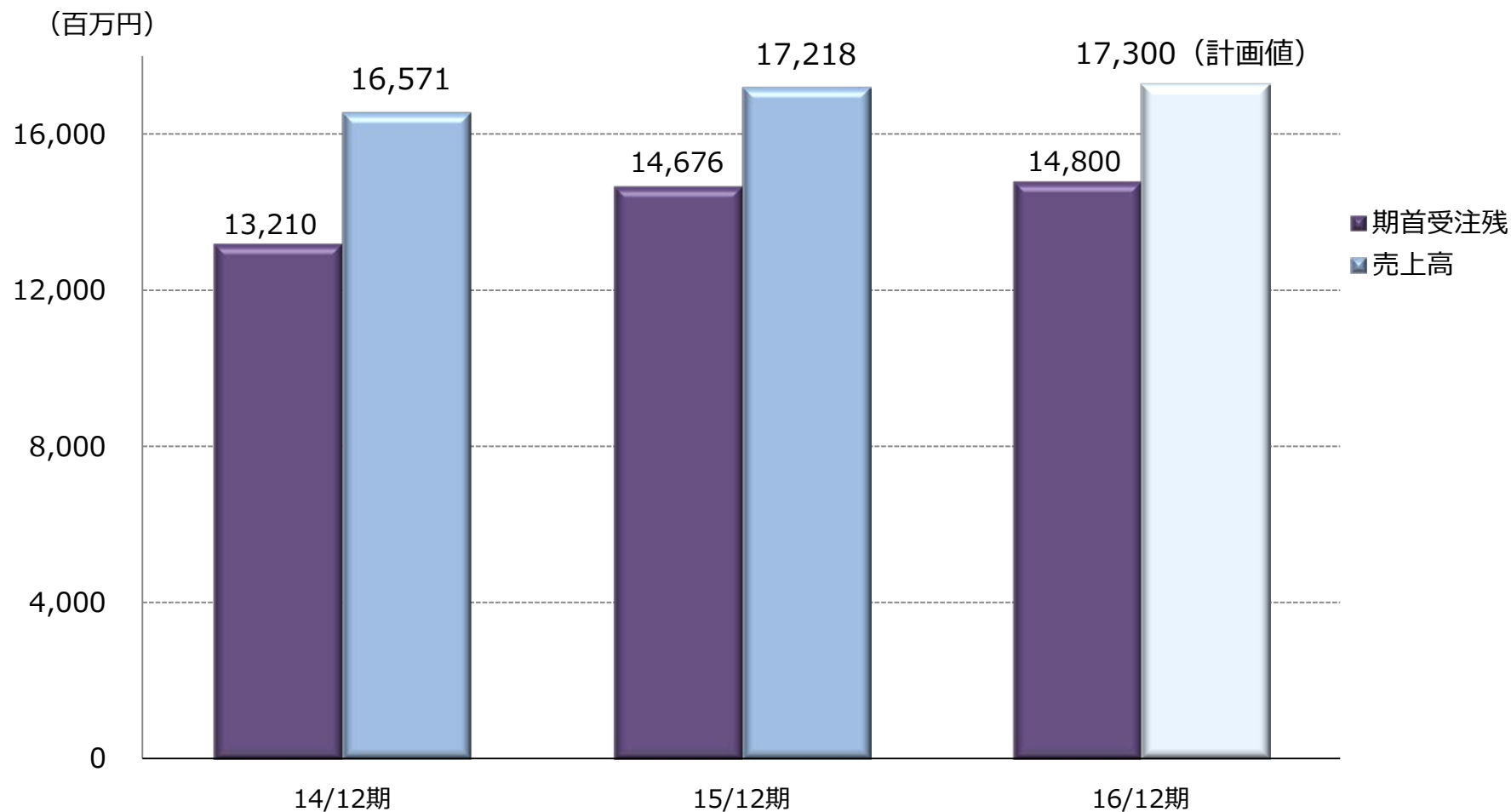
- ◆ 売上高は約1億円増の173億円（前期比0.5%増）
- ◆ 営業利益17億4千万円（同2.8%増）
- ◆ 当期純利益11億1千万円（同1.1%増）

（単位：百万円）

	2014/12 実績	2015/12 実績	2016/12 予想
売上高	16,571	17,218	17,300
営業利益	1,825	1,692	1,740
経常利益	1,850	1,746	1,790
当期純利益	1,588	1,097	1,110

4-2. 期首繰越受注残高の推移

◆ 期首受注残高は約1億2千3百万円増の148億円（前期比0.8%増）



ご清聴 ありがとうございます

質疑応答